



News Letter

2026年

5月

中国四国農政局
徳島県拠点

第2回



みどりの挑戦者たち!

みどり戦略学生チャレンジ全国大会

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、将来を担う若い世代の環境に配慮した取組を促すため、大学や高校などを対象に、当該戦略に基づいた活動を実践する機会として「第2回みどり戦略学生チャレンジ」を実施しました。

徳島県では、県内から応募のあった6校（8グループ）の中から、徳島県立吉野川高等学校が全国大会に出場し、全国から高校の部21校（22グループ）、大学・専門学校の部15校（16グループ）が出場する中、「大臣官房長賞」を受賞しました。

徳島県立吉野川高等学校 野菜専攻班

鳴門ワカメ、廃棄から再生へ～地域から生まれた新資源～

大臣官房長賞

徳島県特産の鳴門ワカメは、加工時に未利用部位が発生し、廃棄に伴うCO₂排出や悪臭、廃棄作業の労働負荷などが地域課題となっています。

これらを解決するため、徳島県立吉野川高等学校は、鳴門ワカメの未利用部位を新たな資源と捉え、土壌改良資材等として活用し、藍染め原料となるタデアイやスギ苗の栽培への利用可能性を検証するため、栽培実証などに取り組みました。



その結果、鳴門ワカメの未利用部位を活用した資材を使用することで、化学肥料の削減と栽培期間の短縮、土壌改良による生育の改善が期待できることがわかりました。また、輸入資材の代わりに使うことで、その分、輸入に伴うCO₂の排出削減も期待できます。今後は、県内の会社と協働試験を行い、持続可能な社会を目指し「廃棄から再生へ」を合言葉に地産地消の国産培養土の開発に取り組むとのことです。

第2回みどり戦略学生チャレンジ (中国四国地方ブロック大会)

中国四国ブロック大会では、徳島県立小松島西高等学校が**優秀賞**を受賞し、徳島県立徳島北高等学校、徳島県立脇町高等学校、徳島県立那賀高等学校及び徳島大学の4校（6グループ）には、**みどり戦略学生チャレンジ賞**が贈られました。

優秀賞

徳島県立小松島西高等学校 TOKUSHIMA雪花菜工房×藻藍部

学科の特色を生かした挑戦！海のカーボンファイナンス実証プラン
- 食害魚をタカラモノに、廃棄資源を肥料へ、藻場再生が創る循環型経済システムの構築 -

徳島県立小松島西高等学校では、徳島県南部をはじめ各地で藻場の減少や磯焼けが深刻化している現状を受け、藻場再生を持続可能な仕組みとして展開するための探究活動に取り組みました。

活動では、磯焼けの一因とされる食害魚や未利用魚に着目し、ブダイやアイゴ等を活用した商品開発を行いました。さらに、その売上の一部を藻場再生活動に還元する仕組みを導入し、消費活動を環境保全の資金につなげる寄付型モデルの構築を目指しました。また、AI搭載水中ドローンによる海洋調査を実施し、藻場の状況を可視化・記録しました。

その調査結果を基に「Jブルークレジット制度」へ申請し、高校生として初めて受理されました。本取組は、海藻によるCO₂の吸収・固定というブルーカーボンの価値を、商品開発、寄付、クレジット申請と結び付け、海の環境価値を地域の資金循環へつなげる実践です。



チャレンジ賞

徳島県立徳島北高等学校 スマート農業プロジェクトチーム
害鳥対策と成長モニタリングに挑戦！！

徳島県立脇町高等学校 ちーむイシクラゲ

イシクラゲと土壌改良 ～藍藻イシクラゲを活用した低コスト肥料資源の可能性～

徳島県立脇町高等学校 ちーむコエグロ

コエグロから地域活性化～コエグロ酵母で挑む！にし阿波の傾斜地からの食文化イノベーション～

徳島県立那賀高等学校 地域探究同好会

「放置ゆず」を「地域の宝」へ！ 地域をつなぐ小さな力 ～内発的発展力を高めるために～

徳島大学 生物資源産業学部畜産科学研究室

食品腐敗菌ライブラリー活用による賞味期限延長と食品ロス削減

徳島大学 生物資源産業学部西阿波調査隊

世界農業遺産における在来ソバの価値の再発見ー持続性×省力化の挑戦ー